

指定校番号	28041	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原西小学校	校長	北村 由美子	生徒指導主事	平野 知子
-----	------------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『児童会活動の活性化』

取組のねらい『自己実現とリーダーの育成』

- 児童会活動を通して、自主的、実践的な態度を育成する。
- よりよい学校にしていくために、自分の公約実現に向けた取組を支援することを通して、自己実現の喜びを感じさせ、リーダーの育成を図る。
- 子どもたちの力でより良い学校にしていくための活動をしていく風土を作る。

取組の具体的内容『児童によるより良い学校作り』

- 児童会役員選挙
 - ・立候補者は、より良い学校にするために自分の公約を掲げて演説を行う。
 - ・全校児童による選挙によって役員が選出される。
- 公約達成のための取組
 - ①進んであいさつ・そうじができる学校
 - ・あいさつ標語を募集し、校内放送で優秀作品を発表した。
 - ・6年生がたてわり班そうじのリーダーとしてそうじを指導し、「そうじマイスター」を推薦した。
 - ・学校としての「あいさつマイスター・そうじマイスター」の取組と連携して取組をすすめた。
 - ②仲の良い竹西っ子
 - ・全校レクでしたい遊びについて、全校にアンケートを行い、計画を立てた。
 - ・全校朝会で内容等を周知し、大休憩におにごっこを行った。
 - ・児童会役員でふり返りをして成果と課題をまとめた。
 - ・第1回目の反省点をふまえて第2回目を計画し、行った。



取組の課題・創意工夫『責任感と達成感』

○達成感

- ・公約が達成できるための機会や場を意図的に設定する。
- ・達成感を感じることができるように、計画・準備・練習などの支援を行う。
- ・取組や活動についての振り返りも行い、次に活かしていくようにする。

○校風作り

- ・公約は選挙の時に宣言するだけのものではなく、達成のための取組をすることが大切であるという雰囲気を作る。
- ・今年度だけの活動ではなく、来年度以降もつなげていくための取組を進めていく。

取組の成果（効果）『次の取組への意欲』

○あいさつについての児童の肯定的評価が高まった。

H27年 91% H28年 96%

○そうじマイスターが増え、「黙々そうじ」についての児童の肯定的評価が上がった。

H27年 89% H28年 96%

○全校レクでは、全児童で楽しむことができ、次のレクも楽しみにしている。また、児童会役員は1回目の全校レクのあと、ふり返りを行い、課題を整理して第2回目を計画した。前回の反省点を活かして改善したため、2回目は1回目よりも達成感が高まった。

○6年生との準備や打ち合わせを大切にすることで、活動や取組に自信を持って取り組むことができ、次の取組への意欲も向上した。その姿が、下級生の良いモデルとなっている。

今後の展開『つながりと発展』

○今年度の児童会の取組を来年度の6年生につないでいく。

○全校レクを縦割り班活動とつなげ、異年齢交流活動を充実させていく。

○活動や取組における教師の支援の割合を少しずつ減らしても活動できるよう、計画的に指導していく。

他校へのアドバイス『事前準備の充実』

○児童主体の活動や取組においては、教師が事前準備や段取りをしておく部分と、児童に任せる部分とのバランスが必要である。本番は任せる見守ることができるよう、事前の準備や練習を大切にしている。